

タイトル「**2023年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1131		
科目名	心理学 1		
担当教員	木村 敦		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	水 1		
講義室	1501	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	総合教育		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	文化教養		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-D〔市民的素養・市民的教養〕 市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。 DP2-B〔自己の特性を理解し社会に貢献しようとする姿勢〕 自己の存在意義を知り、自らを高め続けようと努力することができる。 DP4-I〔理解力・分析力〕 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 D1市民的素養と参加-60% B1自己啓発-20% I3情報分析-20%		
教員の実務経験	なし		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 2進学期～3発展期		
科目概要・キーワード	心理学は外部から直接観察できない「心」を客観的な手法で研究し、人間行動の理解や問題解決への応用に役立てる学問領域です。学習、感覚・知覚、記憶、言語・思考・知能、感情・情動といった心理学の主要分野の基本的知識およびその研究法を概観し、心理学的現象を客観的に理解し判断する力を身につけます。 授業形態は講義形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。そのためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 (キーワード) 感覚知覚、記憶、学習、情動		
授業の趣旨	■ 副題 人間の心理や行動を客観的に分析するために、心理学の知識と研究法の基礎を学びます。 ■ 授業の目的 ①社会人として必要な教養と社会科学の知識を高めるために、知覚、記憶、学習、感情、性格といった心理学の基礎知識、および心理学の研究法や歴史について理解する。 ②自己啓発力を高めるために、心理学の理論や考え方をもとに客観的に自己や他者の行動を分析する態度を身につける。 ③情報分析力を高めるために、学習内容に関するレポート作成や討論を通じて情報の再構成や評価に関する技能を修得する。 ■ 授業のポイント 高校までに学習機会の少ない人文社会科学の一学問領域である心理学について、人間の一般		

	的な心理・行動特性を幅広く概観しつつ、心や行動を客観的に捉えるアプローチを学びます。それらの学習を通じて、自分や他者の行動を客観的に解釈する技能を身につけましょう。								
総合到達目標	■文化的素養・市民的教養を高めるために、知覚、記憶、学習、感情、性格を題材として心理学の基礎知識と研究法を理解する。また、自己の特性を理解し社会に貢献しようとする姿勢を高めるために、心理学的アプローチから自己の行動を客観的に分析する態度を身につける。さらに、理解力・分析力を高めるために、心理学に関する情報の収集・再構成・評価に関する技能を修得する。 ・心理学は「平均値の科学」であることについて、心理研究法の観点から説明できる。(第2回) ・複数の心理学的概念を用いて、自分自身の心理や行動を多面的に考察することができる。(第2～14回) ・心理学的研究法のうち、実験法と調査法の特性について両者を比較しながら説明できる。(第3回) ・人間の認知・感情機能の特性と限界について述べるができる。(第4～12回) ・特定の心理学的概念に関する情報を複数の情報源から入手し、妥当な情報を整理・要約することができる。(第4～11回) ・自身の日常生活や専門に関する問題について、心理学的視点から解決法を提案できる。(第13～15回)								
成績評価方法	■理解度確認課題2回 (30%) (評価の観点) 当該単元の理解度を評価します。 (フィードバック方法) 授業時間中に解説・講評を行います。 ■リアクションペーパー12回 (60%) (評価の観点) 授業内容の理解度、ならびに心理学の概念を日常生活の経験に置き換えて説明できるかを評価します。 (フィードバック方法) 授業時間中に解説・講評を行います。 ■レポート1回 (10%) (評価の観点) 心理学学修の意義を日常生活や専門と関連づけて論じることができているかを評価します。 (フィードバック方法) 授業時間中、あるいはポータルにて解説・講評を行います。 ※成績評価における各方法の比率は、授業形態によって変更となる場合があります。詳細は初回ガイダンスで説明します。								
履修条件	特になし								
履修上の注意点	初回ガイダンスにて、授業の進め方や、欠席(公欠)時の代替課題、受講ポリシー、成績評価の詳細などについて説明します。それらをよく理解した上で履修してください。初回ガイダンスに欠席した場合は、授業資料等を用いて各自で学修してから履修してください。								
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 ガイダンス聴講と個別質問により、当科目の到達目標や学習計画、授業運営や成績評価方法を想起できるようになるとともに、それらを自分のコンピテンスや希望キャリア、学修計画と照らし合わせ、当科目を今期履修するか否かの意思決定ができるようになる(I3)。 ③予習 (120分) シラバスを精読するとともに、図書館等で心理学概論に関する書籍を複数閲覧し、目次や興味ある章を一読する。 ④復習 (120分) 講義ノートを確認して自分の学修計画における当科目での学修目標を明確にするとともに、他履修科目の授業計画も参照し、当科目について学期を通じての学修計画書を作成する。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ 心理学とは ②授業概要 「しろうと」からみた心理学のイメージと、実際の社会科学としての心理学の差異について説明できるとともに(D1)、なぜこのような差異が生じるのかについて、「心理学は平均値の科学」という観点から説明できるようになる(D1)。 ③予習 (120分) ポータルから当該授業回の配布資料をダウンロードし、教科書や資料に記載されている参考書・URLを参照して資料空欄に適切な語を記入する。 ④復習 (120分) 授業ノートを確認し、当該授業の学習内容について自分の言葉で概略を述べるとともに、日常生活例や発展研究例など自分なりの説明をノートにまとめる。 </td></tr> <tr> <td>3</td><td> ①授業テーマ 心理学の研究法 ②授業概要 複雑で曖昧さのある人間心理・行動を客観的に分析・考察するアプローチや手法に関して、とくに実験法と調査法の特性を比較しながら説明できるようになる(D1)。 ③予習 (120分) ポータルから当該授業回の配布資料をダウンロードし、教科書や資料に記載されている参考書・URLを参照して資料空欄に適切な語を記入する。 ④復習 (120分) 授業ノートを確認し、当該授業の学習内容について自分の言葉で概 </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 ガイダンス聴講と個別質問により、当科目の到達目標や学習計画、授業運営や成績評価方法を想起できるようになるとともに、それらを自分のコンピテンスや希望キャリア、学修計画と照らし合わせ、当科目を今期履修するか否かの意思決定ができるようになる(I3)。 ③予習 (120分) シラバスを精読するとともに、図書館等で心理学概論に関する書籍を複数閲覧し、目次や興味ある章を一読する。 ④復習 (120分) 講義ノートを確認して自分の学修計画における当科目での学修目標を明確にするとともに、他履修科目の授業計画も参照し、当科目について学期を通じての学修計画書を作成する。	2	①授業テーマ 心理学とは ②授業概要 「しろうと」からみた心理学のイメージと、実際の社会科学としての心理学の差異について説明できるとともに(D1)、なぜこのような差異が生じるのかについて、「心理学は平均値の科学」という観点から説明できるようになる(D1)。 ③予習 (120分) ポータルから当該授業回の配布資料をダウンロードし、教科書や資料に記載されている参考書・URLを参照して資料空欄に適切な語を記入する。 ④復習 (120分) 授業ノートを確認し、当該授業の学習内容について自分の言葉で概略を述べるとともに、日常生活例や発展研究例など自分なりの説明をノートにまとめる。	3	①授業テーマ 心理学の研究法 ②授業概要 複雑で曖昧さのある人間心理・行動を客観的に分析・考察するアプローチや手法に関して、とくに実験法と調査法の特性を比較しながら説明できるようになる(D1)。 ③予習 (120分) ポータルから当該授業回の配布資料をダウンロードし、教科書や資料に記載されている参考書・URLを参照して資料空欄に適切な語を記入する。 ④復習 (120分) 授業ノートを確認し、当該授業の学習内容について自分の言葉で概
回	内容								
1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 ガイダンス聴講と個別質問により、当科目の到達目標や学習計画、授業運営や成績評価方法を想起できるようになるとともに、それらを自分のコンピテンスや希望キャリア、学修計画と照らし合わせ、当科目を今期履修するか否かの意思決定ができるようになる(I3)。 ③予習 (120分) シラバスを精読するとともに、図書館等で心理学概論に関する書籍を複数閲覧し、目次や興味ある章を一読する。 ④復習 (120分) 講義ノートを確認して自分の学修計画における当科目での学修目標を明確にするとともに、他履修科目の授業計画も参照し、当科目について学期を通じての学修計画書を作成する。								
2	①授業テーマ 心理学とは ②授業概要 「しろうと」からみた心理学のイメージと、実際の社会科学としての心理学の差異について説明できるとともに(D1)、なぜこのような差異が生じるのかについて、「心理学は平均値の科学」という観点から説明できるようになる(D1)。 ③予習 (120分) ポータルから当該授業回の配布資料をダウンロードし、教科書や資料に記載されている参考書・URLを参照して資料空欄に適切な語を記入する。 ④復習 (120分) 授業ノートを確認し、当該授業の学習内容について自分の言葉で概略を述べるとともに、日常生活例や発展研究例など自分なりの説明をノートにまとめる。								
3	①授業テーマ 心理学の研究法 ②授業概要 複雑で曖昧さのある人間心理・行動を客観的に分析・考察するアプローチや手法に関して、とくに実験法と調査法の特性を比較しながら説明できるようになる(D1)。 ③予習 (120分) ポータルから当該授業回の配布資料をダウンロードし、教科書や資料に記載されている参考書・URLを参照して資料空欄に適切な語を記入する。 ④復習 (120分) 授業ノートを確認し、当該授業の学習内容について自分の言葉で概								

	略を述べるとともに、日常生活例や発展研究例など自分なりの説明をノートにまとめる。
4	①授業テーマ 感覚・知覚(1) ②授業概要 視覚を例として、感覚入力から見えに至るまでの基礎的な知覚情報処理について説明できるようになる(D1)。また、学習トピックに関する自分自身の認知特性について述べるができるようになる(B1)。 ③予習(120分) ポータルから当該授業回の配布資料をダウンロードし、教科書や資料に記載されている参考書・URLを参照して資料空欄に適切な語を記入する。 ④復習(120分) 授業ノートを確認し、当該授業の学習内容について自分の言葉で概略を述べるとともに、日常生活例や発展研究例など自分なりの説明をノートにまとめる。
5	①授業テーマ 感覚・知覚(2) ②授業概要 視覚的注意について、中心視・周辺視との関連から機能や制約について説明できるようになる(D1)。また、学習トピックに関する自分自身の認知特性について述べるができるようになる(B1)。 ③予習(120分) ポータルから当該授業回の配布資料をダウンロードし、教科書や資料に記載されている参考書・URLを参照して資料空欄に適切な語を記入する。 ④復習(120分) 授業ノートを確認し、当該授業の学習内容について自分の言葉で概略を述べるとともに、日常生活例や発展研究例など自分なりの説明をノートにまとめる。
6	①授業テーマ 記憶 ②授業概要 記憶の分類や変容といった基礎的な知見、および目撃証言などの関連研究分野について説明できるようになる(D1)。また、学習トピックに関する自分自身の認知特性について述べるができるようになる(B1)。 ③予習(120分) ポータルから当該授業回の配布資料をダウンロードし、教科書や資料に記載されている参考書・URLを参照して資料空欄に適切な語を記入する。 ④復習(120分) 授業ノートを確認し、当該授業の学習内容について自分の言葉で概略を述べるとともに、日常生活例や発展研究例など自分なりの説明をノートにまとめる。
7	①授業テーマ 理解度確認課題(1)の実施 ②授業概要 理解度確認課題を通じてここまでの学習内容についての到達度を把握する(D1、B1)。解説は第8回に行う予定です。 ③予習(120分) これまでの授業ノートを読み直し、各回のテーマや専門用語について論じられるよう準備する。 ④復習(120分) 授業内テストの解説を振り返り、理解しきれていなかった点について再度まとめなおす。
8	①授業テーマ 学習 ②授業概要 心理学における学習の概念や、レスポナント条件付けとオペラント条件付けといった基礎的な理論について説明できるようになる(D1)。また、学習トピックに関する自分自身の認知特性について述べるができるようになる(B1)。 ③予習(120分) ポータルから当該授業回の配布資料をダウンロードし、教科書や資料に記載されている参考書・URLを参照して資料空欄に適切な語を記入する。 ④復習(120分) 授業ノートを確認し、当該授業の学習内容について自分の言葉で概略を述べるとともに、日常生活例や発展研究例など自分なりの説明をノートにまとめる。
9	①授業テーマ 感情・情動(1) ②授業概要 感情・情動の分類、機能、発生について説明できるようになる(D1)。また、学習トピックに関する自分自身の認知特性について述べるができるようになる(B1)。 ③予習(120分) ポータルから当該授業回の配布資料をダウンロードし、教科書や資料に記載されている参考書・URLを参照して資料空欄に適切な語を記入する。 ④復習(120分) 授業ノートを確認し、当該授業の学習内容について自分の言葉で概略を述べるとともに、日常生活例や発展研究例など自分なりの説明をノートにまとめる。
10	①授業テーマ 感情・情動(2) ②授業概要 情動のコントロールに関する心理学的諸技能について説明できるようになる(D1)。また、学習トピックに関する自分自身の認知特性について述べるができるようになる(B1)。 ③予習(120分) ポータルから当該授業回の配布資料をダウンロードし、教科書や資料に記載されている参考書・URLを参照して資料空欄に適切な語を記入する。 ④復習(120分) 授業ノートを確認し、当該授業の学習内容について自分の言葉で概

	略を述べるとともに、日常生活例や発展研究例など自分なりの説明をノートにまとめる。
11	①授業テーマ 感情・情動(3) ②授業概要 欲求や動機づけに関する基礎的な理論について説明できるようになる(D1)。また、学習トピックに関する自分自身の認知特性について述べることができるようになる(B1)。 ③予習(120分) ポータルから当該授業回の配布資料をダウンロードし、教科書や資料に記載されている参考書・URLを参照して資料空欄に適切な語を記入する。 ④復習(120分) 授業ノートを確認し、当該授業の学習内容について自分の言葉で概略を述べるとともに、日常生活例や発展研究例など自分なりの説明をノートにまとめる。
12	①授業テーマ パーソナリティ ②授業概要 心理学における性格・パーソナリティの捉え方について説明できるようになる(D1)。また、性格検査の体験を通じて自己の性格を性格理論の枠組みから説明できるようになる(B1)。 ③予習(120分) ポータルから当該授業回の配布資料をダウンロードし、教科書や資料に記載されている参考書・URLを参照して資料空欄に適切な語を記入する。 ④復習(120分) 授業ノートを確認し、当該授業の学習内容について自分の言葉で概略を述べるとともに、日常生活例や発展研究例など自分なりの説明をノートにまとめる。
13	①授業テーマ 理解度確認課題(2)の実施 ②授業概要 理解度確認課題の実施を通じてここまでの学習内容についての到達度を把握する(D1、B1)。解説は第14回に行う予定です。 ③予習(120分) これまでの授業ノートを読み直し、各回のテーマや専門用語について論じられるよう準備する。 ④復習(120分) 授業内テストの解説を振り返り、理解しきれていなかった点について再度まとめなおす。
14	①授業テーマ 学修内容の振り返りと授業内レポートの作成 ②授業概要 今学期の学修内容を振り返るとともに、レポートの課題や形式について確認した上で、レポートを作成する(B1)。 ③予習(120分) これまでの授業ノートを読み直し、各回のテーマや概念を自身の生活や専門にどのように役立てることができるか考えを整理してくる。 ④復習(120分) 作成したレポートの内容と学修内容の対応について整理し直す。
15	①授業テーマ 授業総括 ②授業概要 授業総括を通じて、当科目での学習内容や自己の到達度を説明できるようになるとともに(D1)、授業内レポートのフィードバックを通じて自身の自己啓発力や情報分析力に関する気づきや成長について具体例を挙げながら説明することができる(B1、I3)。 ③予習(120分) これまでに配布した授業資料やノートを読み直し、科目を通じて自分が修得した知識や技能を論じられるように準備する。また、到達度が充分でない部分については、再度教科書や授業資料をまとめ直し、不明な点を質問できるようにする。 ④復習(120分) 授業総括および授業内レポートの内容を振り返り、自分の考えを再検証する。さらに、当科目の到達度を自己評価し、到達目標達成のために必要な課題を自ら選定して実施・提出する。
関連科目	心理学2 (RMGT/SSCS1132)
教科書	無し 各授業回について講義資料を配布します。なお、講義資料はポータル (Live Campusあるいは Google Classroom) から事前にダウンロードすることができますので、予習や補習に活用してください。
参考書・参考URL	授業内で適宜指示します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 開講時に告知します。
研究比率	



